



調査フラッシュリリース

警察常任委員会
活動報告

第347回
定例兵庫県議会
一般質問

藤原保幸伊丹市長
との対談

「警察常任委員会」活動報告

令和元年6月警察常任委員会の委員長に就任し、12名で構成される委員（議員）の皆様と、県民の日常生活に不安を与えるストーカーやDV、児童虐待、暴力団対策等の人身安全関連事案や振り込め詐欺等の特殊詐欺などの犯罪対策のほか、大規模災害等への対策やサイバーセキュリティ対策、社会問題化する高齢者事故対策などの取組にかかる審査・調査を行って参りました。



香住海上保安署見学



飾磨警察署家島交番視察



県警機動隊視察

特に今年度は、「最近の交通情勢を踏まえた交通安全対策のあり方について」を**特定テーマ**として活動し兵庫県内の警察署等を調査・研修致しました。

平成30年の統計によると、交通事故死者数は152人と前年比9人減で、統計を取り始めた1947年以降で最小タイとなったが、死者のうち65歳以上の高齢者が占める割合は59.2%と過去最高となった。

また、昨年は災害により多くの信号機が消え、混乱が生じるなど災害に対応する交通安全施設の整備も求められている。そこで、「安全、安心、快適な交通社会の実現」のため、交通事故実態や最近の交通環境を踏まえ、交通事故防止対策や交通安全教育のあり方、交通指導取締り、交通安全関連施設について調査研究を行いました。

特定テーマに関する調査研究の目的

「各常任委員会は、委員会の調査及び審査能力並びに政策立案機能の向上を図るため、委員会の自主的な活動として、所管事項の中から特に検討を要するテーマを選定し、当該テーマに係る調査研究に取り組むこととする。」



警察車両の視察



兵庫県警察音楽隊のメンバー

★兵庫県下の警察署（24署）が大会に出場され日頃の人命救助等の訓練の成果を、タイムで競われたが、どの警察署（チーム）も署員の皆様が優れた連携をされ、救助等にあたられておられました。

★県下各署、健闘の中、伊丹署も日頃の訓練の成果を存分に発揮されました。

★大会とはいえ県民としてその行動に深く感謝致しました。

様々な常任委員会としての活動を通して、県民の皆様が安全で安心して生活できる地域創りの推進となる調査・研修が出来ました。今後、皆様のために、この活動を生かして参ります。

第347回 定例兵庫県議会 一般質問

令和2年2月27日 (本会議場)

1.地域医療構想の実現について

★ 質問趣旨

阪神北準医療圏域においては今後、超高齢化社会を迎える時代にあたり高度急性期機能(より高度な治療を要する脳卒中・心筋梗塞等に対応出来る)を有する病院は必ず必要となります。

現在、伊丹市においては「市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編に係る基本方針」(案)が「県民の理解」を得る努力をしつつ進められています。その実現の為に兵庫県・国の財政的支援等が欠かせないものとなります。

★ 兵庫県の答弁

2025年(超高齢化社会)を目前に控え圏域の関係機関の協議を踏まえ、市立伊丹病院等の事例についても県の財政的支援・国からの財政支援等もふくめて支援していく。



2.日本遺産認定を視野に入れた今後の清酒販路拡大支援について

★ 質問趣旨

兵庫県における清酒産地の現状と課題を踏まえ、日本遺産認定を視野に入れ今後どのように清酒の販路拡大を支援していかれるのか。

★ 兵庫県の答弁

今後は日本遺産認定も視野に、様々な歴史資源や和食、山田錦等の酒米と合わせ、清酒を育んだ地域文化全体を物語としてアピールし、清酒のブランド化戦略や市場開拓戦略を強化していきたい。さらに、経営資源が弱い中小酒蔵が多い現状から見て、多様な海外市場や遠距離物流に対応した技術開発戦略も必要である。工業技術センターを軸に産学官での共同開発に引続き積極的に取組んでいく。手探りで始まった清酒輸出も今では県内酒蔵77社のうち半数の34社が手掛けるまでになった。世界一の清酒どころ・兵庫とその多彩な銘柄を最大限発信し、清酒産業の新たな成長に繋ぐ。



3.伊丹空港の国際線就航について

★ 質問趣旨

今後の伊丹空港の国際線就航の実現可能性について

★ 兵庫県の答弁

伊丹空港の国際線就航に向けては、3空港懇談会でしっかり議論し、空港法に基づく「基本方針」を見直し、まずは国際チャーター便の実現を目指していきたいと考えています。

4.中高年齢層の大麻の乱用防止について

5.入管法改正を踏まえた今後の外国人児童生徒の受入体制の充実について

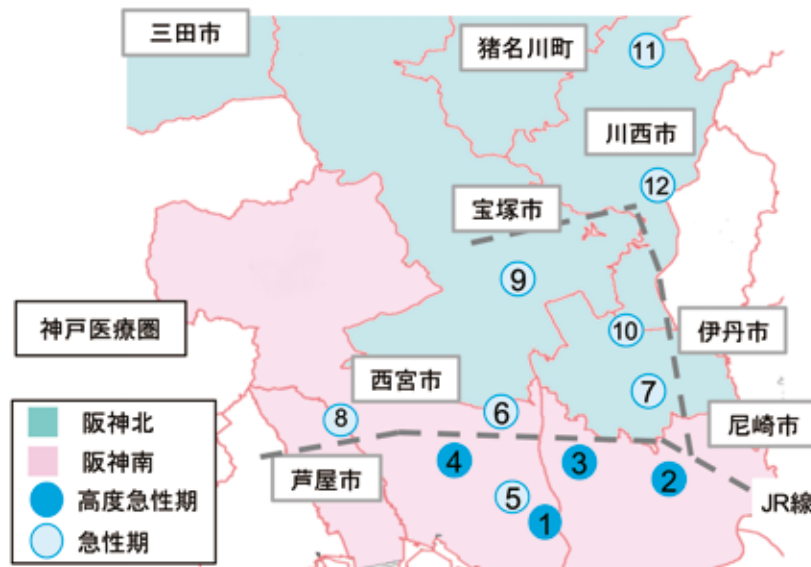
6.県立高校職業学科の魅力・特色づくりの推進について

以上6項目にわたり質問致しました。有り難うございました。

阪神北準圏域における医療提供体制

多発外傷や広範囲熱傷等の重篤な救急疾患や2次救急医療機関の後送先ともなる救命救急センターは、阪神南部に3か所ありますが阪神北準圏域にはありません。また、阪神北準圏域においては、3次救急医療を含めた高度医療について、阪神南部だけではなく大阪や神戸の医療機関への流出も多く認められています。住民にとって、身近な場所で受けたい医療が受療できるよう不足する医療機能の充足や医療機関の連携強化を図る必要があることが、兵庫県地域医療構想(平成28年10月策定)において指摘されています。

高度急性期機能は阪神南医療圏域に集中



#	病院名	#	病院名
1	兵庫医科大学病院	7	近畿中央病院
2	尼崎総合医療センター	8	市立芦屋病院
3	関西労災病院	9	宝塚市立病院
4	県立西宮病院	10	市立伊丹病院
5	明和病院	11	市立川西病院
6	西宮市立中央病院	12	協立病院

* 主に伊丹市近隣の公立病院及び200床以上の病院を抽出

出所：伊丹市主催「伊丹市の地域医療を考えるシンポジウム(2019年8月24日、9月1日)」における資料より抜粋



藤原保幸 伊丹市長 との対談

統合再編基本方針(案)について

伊丹市では、平成31年2月の「市立伊丹病院あり方検討委員会」からの提言を受けて、令和元年度において、伊丹市と近畿中央病院の設立母体である公立学校共済組合との間で、市立伊丹病院と近畿中央病院の統合の可否の検討を進めて来られました。

協議の結果、統合再編することが望ましいとの結論に至ったことを踏まえ、令和元年12月において、「市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編に係る基本方針(案)」を取りまとめられます。今回は、この統合再編基本方針(案)を踏まえ、伊丹市における地域医療体制の推進施策について、伊丹市長にお尋ねしました。

坪井

伊丹市域が抱える地域医療の課題として、大きなものはなんだとお考えですか？

藤原市長

市立伊丹病院と近畿中央病院は、長年わたり、地域の中核病院としての役割を果たしてきました。しかしながら、施設の老朽化が進み、最新の医療機器の整備が伴わないこと等から、脳卒中や心筋梗塞などの一刻も早い治療が必要となる患者の多くが、市外の高度な医療機能を有する医療機関で入院をされています。私としましては、市民の皆さまにできるだけ市内で、安心して受診いただけるような環境を整えなければならぬと思っています。そのためには、高度医療の提供体制の充実を図り、24時間365日対応可能な救急医療機能を備える必要があると考えています。

坪井

今回の基本方針(案)において、統合再編による基幹病院はどのような機能を有し、どのような役割を果たしていくとされていますか？主なポイントを教えてください。

藤原市長

がんや脳血管疾患、心血管疾患などの市内で不足している高度医療が提供可能な基幹病院を設置するとともに、入院医療に対する市民の皆さまからの不安が生じることのないよう、必要とされる病床機能を確保し、将来にわたり安定的・継続的な地域医療提供体制の構築を目指す必要があると思っています。

また、阪神南部の高度急性期病院は、いずれも高潮発生時等における浸水被害想定区域に位置しておりますことから、阪神北準圏域において、災害時でも医療機能を継続できる、高度急性期機能を有する基幹病院を目指したいと考えています。



坪井

伊丹市議会において、基本設計等に関する予算の議決を経て、いよいよ令和2年度から統合再編による新病院建設が進められていくわけですが、市民の皆さまに何をお伝えしたいですか？

藤原市長

伊丹市が抱える地域医療体制の課題に対応していくためには、市立伊丹病院と近畿中央病院が競合するのではなく、協力しあうことによって人員体制の強化を図り、医師の確保等に努め、安定的・継続的に不足する高度な医療の提供体制を構築していくことが必要です。そのためには、両病院の統合再編が、望ましい選択肢であるとの判断に至りました。どうか、市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫県では、平成30年4月に「兵庫県保健医療計画」を改定し、地域医療構想の実現に向けた取り組みを着実に推進しております。この度は、阪神北準圏域における医療体制整備・充実のため、藤原保幸伊丹市長にお話をお聞きしました。

今後、兵庫県全体の医療体制の整備・充実の為に努力してまいります。

坪井謙治プロフィール

- 昭和30年9月14日、岡山県生まれ、64歳
- 伊丹市立緑丘小学校、同東中学校を経て、大阪商業高等学校、近畿大学商経学部卒業
- 昭和54年 東邦薬品株式会社 入社 平成11年 東邦薬品株式会社 退社
- 平成11年 伊丹市議会議員初当選 以来4期連続当選
- 平成27年 兵庫県議会議員初当選(現2期)
- 兵庫県立伊丹高等学校元PTA会長、保護司、北村の景観を創る会 顧問
- 家族 妻と二男一女の5人家族